

第639回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 昭和通線（小戸之橋架替え）整備事業

宮崎市永楽町～城ヶ崎

宮崎市の北部と南部を結ぶ昭和通線は、起点の宮崎駅東一丁目から大淀川を渡河し、終点の大字田吉字赤江に至る総延長3,870m、代表幅員16mの幹線道路です。

現在の小戸之橋は、昭和38年に建設され、建設してから約50年経過し、老朽化が著しく、また、片側の歩道で歩行者、自転車の安全が確保されていないことなどから、架替え事業が実施されています。

平成25年11月より橋を通行止めにして旧橋の撤去に着手しており、平成33年3月に新橋の供用開始を目指しています。



旧小戸之橋



新小戸之橋の完成イメージ

2. 国富スマートインターチェンジ（仮称）整備事業

宮崎県東諸県郡国富町

東九州自動車道（宮崎西IC～西都IC間）の宮崎県東諸県郡国富町に建設している本線直結型のスマートインターチェンジです。

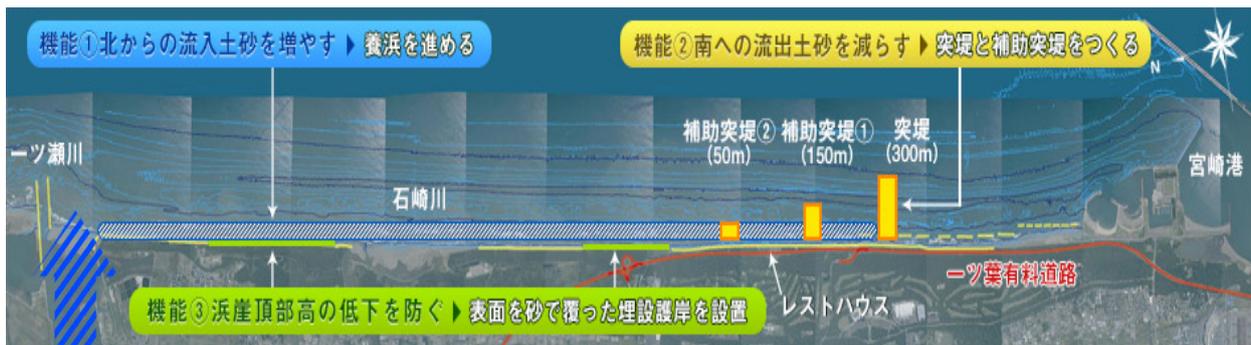
周辺の産業及び観光拠点から高速道路へのアクセス向上による産業振興・物流の効率化、観光振興の向上や、隣接するインターチェンジや一般道路へ集中する交通の分散による、周辺道路の交通状況の改善の効果、また大規模災害時のリダンダンシー機能の強化等が見込まれ、2019年度の供用開始を目指しています。



3. 宮崎海岸侵食対策事業

宮崎市山崎町～佐土原町下田島

- 宮崎海岸は白砂青松の広大な砂浜海岸であったが、この数十年の海岸侵食により砂浜が失われ、海岸背後地の人々の安全が脅かされています。
- 海岸背後地の人々の安全・安心の確保と、国土保全を目的に海岸保全施設整備事業を実施しています。
- 行政・市民・専門家が三者一体となって、海岸の防護・環境・利用が調和した整備を目指しています。
- 宮崎海岸ステップアップサイクルに基づき、対策の効果を確認しながら段階的に進めています。



4. 宮交ボタニックガーデン青島（県立青島亜熱帯植物園）整備事業

宮崎市青島

「宮交ボタニックガーデン青島」は、県内有数の観光地である青島神社の参道に面した植物園です。

「南国情緒あふれる青島の花やみどりを楽しめる体験型植物園」をテーマに、平成28年3月にリニューアルオープンしています。

姉妹園であるシンガポール植物園との交流をアピールするため、大温室にマライオン像やシンガポール国花等を設けております。

リニューアル後は、来園者が大幅に増えただけではなく、周辺の民間施設の開発が次々と動き出すなど、青島地域の活性化の起爆剤となっています。

